Model Course 4

大福山から雲山峰

【葛城第三経塚(大福山、雲山峰)】

葛城第三経塚と伝わる 2つの山を目指して 紀泉アルプスを縦走する

葛城第三経塚と伝わる場所は2つある。ひとつは大福山山頂、もうひとつは紀泉アルプスの主峰、雲山峰だ。この一帯は紀泉アルプスとも呼ばれ、ハイカーの多いエリアである。

スタートは、六十谷駅。少し線路沿いに歩いて、山の手に向かう。正面の山の中腹に直川観音の堂宇が見えている。まずは大福山の山号を持つ直川観音に参ろう。参拝を済ませたら観音橋を渡り、山の手に向かう道路をたどって大関橋を経て進んでいく。余裕があれば、川向かいの出世不動尊に立ち寄るといい。さらに進むと小さな小川地蔵があり、大福山の登山口となっている。左に派生する登山道をたどるが道はしばらく平坦だ。やがて道が登りに転じ、登っていくと尾根に出る。このあたりが八王子社のあった場所で、礎石が残る。尾根を登り詰めると水平道に出てひと息つける。

右に進んで奥辺峠に出て大福山を目指すが、緩やかなアップダウンはあるものの尾根道は快適だ。地蔵の祠がある展望地のすぐ先が大福山山頂だ。

大福山からは道標にしたがい尾根を少し下って登り返し、展望のよい懺法ヶ岳西峰、続いて東峰を経て井関峠へと下る。峠の南にも地蔵祠がある。さらに縦走を続けると、地蔵山手前で道は2手に分かれる。左は「緩やか」とあるが、直進した方が早い。分岐で左にとると、雲山峰に着く。分岐に戻り、そのまま直進、好展望の広場、休憩所の六角堂を経て、道標にしたがって墓の谷行者堂を目指す。荒れた谷に下り着き、谷沿いを行くと行者堂がある。お堂裏の高台に行者像が鎮座する。

ここからの林道歩きは長いが、たどっていくと、行きの小川地蔵の分岐に着く。あとは往路を六十谷駅へ向かう。

歩行距離 ◆ 約19km	体力レベル ☆☆☆
歩行時間 ◆ 6時間30分	登山レベル ☆☆☆

コースタイム

START JR阪和線六十谷駅 → 10分 → 直川観音 → 40分 → 小川地蔵分岐 → 1時間 → 奥辺峠 → 50分 → 葛城第三経塚(大福山) → 40分 → 井関峠 → 1時間 → 葛城第三経塚(雲山峰) → 1時間 → 墓の谷行者堂 → 40分 → 小川地蔵分岐 → 30分 → GOAL 六十谷駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行の道とは異なります。

コース情報

直川観音で知られる本惠寺。山号は大福山だ

大福山直下にある展望箇所。南側の展望が開けている

縦走路合流点の奥辺峠には道中安全地蔵が鎮座する

青年の森の広場は紀ノ川河口方面の絶景ポイント

大福山へは美しい尾根道が続いており心地よい

墓の谷行者堂。背後の岩の上の祠には行者像がある

アクセス

往復

JR阪和線六十谷駅

アドバイス

本コースは登山になるので、足回りはトレッキングシューズなど、しっかりした靴で臨むこと。青年の森から行者堂への道は滑りやすい箇所があるので注意しよう。山中は道標が整備されているので迷うところはない。